



懺悔

ПОКАЯНИЕ
"REPENTANCE"
ざんげ
ამბებობა

Production: Georgia-Film, 1984
Director: Tengiz Abuladze
Script: Nana Dzhanelidze, Tengiz Abuladze, Rezo Kveselava
Camera: Mikhail Abramovich
Music by musical supervision by Nana Dzhanelidze
Cast: Avtandil Makharadze, Zeinab Botsvadze, Ketevan Abuladze,
Edisher Guorgobiani, Kikhi Kavtsadze, Iya Ninidze, Merab Ninidze,
Nino Zakariadze, Veriko Andzhaparidze

わたしは
見た。しは
なすすべも
なく——

ソビエト連邦崩壊前夜の
伝説的誕生から二十余年。
強大な権力を握った男と、
ある家族の運命を描く、黙示録的巨編。
遂に全貌をあらわす。

テンギズ・アブラゼ監督作品

1987年カンヌ国際映画祭審査員特別大賞・国際批評家連盟賞・キリスト教審査員賞 ● 1987年シカゴ国際映画祭審査員特別賞
● 1988年NIKA賞(ソ連・アカデミー賞) 作品賞・監督賞・主演男優賞・撮影賞・脚本賞・美術賞

監督:テンギズ・アブラゼ / 脚本:ナナ・ジャンネリゼ、テンギズ・アブラゼ、レゾ・クヴェセラワ / 撮影:ミヘイル・アグラノヴィチ / 出演:アフトンデル・マハラゼ、ゼイナブ・ボツヴァゼ、ケテヴァン・アブラゼ、エディシエル・ギオルゴビアニ
1984 / ソビエト(グルジア)映画 / スタンダード / カラー / 155分 配給:ザジフィルムズ © Georgia-Film, 1984

1987年カンヌ国際映画祭審査員特別大賞・国際批評家連盟賞・キリスト教審査員賞
 1987年シカゴ国際映画祭審査員特別賞
 1988年NIKA賞(ソ連・アカデミー賞)作品賞・監督賞・主演男優賞・撮影賞・脚本賞・美術賞

ペレストロイカ(改革)の象徴となった ソビエト連邦 崩壊前夜の伝説的映画、 20余年を経て、遂に日本公開!

巨匠テンギズ・アブラゼ 「祈り」(68)、「希望の樹」(77)に続く、 “懺悔三部作”の悼尾を飾る大作

旧ソビエト連邦の厳格な検閲の下、グルジア共和国で製作された本作は、1984年12月に完成。86年10月、グルジアの首都トビリシでようやく公開された。観る者に1937年のスターリン書記長による大粛清を想起させる内容は、その時代を真正面から批判した映画として、全世界の注目を集めた。その翌年1月モスクワで一般公開された際は、最初の10日間だけで実に70万人以上を動員したという。

同年5月、カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、審査員特別大賞を獲得。その後、ソビエト全土の公開でも記録的な大成功を収め、「バカヤーニエ(ロシア語題名)現象」と呼ばれるに至った。その社会的反響は1991年のソビエト連邦解体にもつながるペレストロイカ(改革)、グラスノスチ(情報公開)の象徴となった。

人類が、再び大きな過ちを 犯さないために 忘れてはならない事実がある

物語は、架空の地方都市で一人の女性ケテヴァンが教会をかたどったケーキを並べるシーンから始まる。傍らにいた客の男が新聞を広げて「偉大な男が死んだ」

懺 ざんげ 悔



ამბობობობობ
 ПОКАЯНИЕ
 "REPENTANCE"

と叫ぶ。「偉大な男」とは、その街で長く市長として権力を振るっていた男ヴァルラム。ケテヴァンにとっては、かつて両親を粛清した上に殺害し、彼女の人生を大きく狂わせた張本人だった。そしてケテヴァンの回想をとおして、ヴァルラムへの告発と、独裁政権下の粛清によって彼女の家族や市民が辿った苦難の道のりが、ときに幻想的に、力強く描かれてゆく――。

世界を大きく揺るがした時代の、極めて重要な作品と位置づけられていた本作。不運な事情によって、長らく日本公開されることがなかった幻の映画が、奇しくも東欧民主化から20年経った今、その全貌をあらわす。描かれている自由と人権のメッセージは強く普遍的であり、ソ連邦崩壊後、湾岸戦争、9.11、イラク戦争と、不安定な政治情勢が続く今の時代にこそ求められる名作である。

テンギズ・アブラゼ監督

グルジア映画は2008年に誕生100年を迎えた。アブラゼは、その戦後の発展を担ってきた代表的監督である。1924年、ソビエト連邦グルジア共和国のクタイシ生まれ。幻想や詩的な暗喩を用いて、社会的不正義や因習を鋭く告発し、国際的に多くの評価を得た。1994年没。

監督:テンギズ・アブラゼ/脚本:ナナ・ジャネリゼ、テンギズ・アブラゼ、レゾ・クヴェセラワ/撮影:ミヘイル・アグラノヴィチ/出演:アフタンディル・マハラゼ、ゼイナブ・ボツヴァゼ、ケテヴァン・アブラゼ、エディシェル・ギオルゴピアニ 1984/ソビエト(グルジア)映画/スタンダード/カラー/モノラル/153分/グルジア語版/字幕翻訳:松澤一直/字幕監修:児島康宏 配給:ザジフィルムズ © Georgia-Film, 1984

過去を記憶できない者は、その過去を繰り返す運命を負わされる——ジョージ・サンタヤーナ(哲学者)



当館にて上映決定! 7/11(土)~7/17(金)二本立て

懺悔

13:30/18:50

そして、私たちは愛に帰る

■ 脚本:フアティ・アキン ■ 出演:パーキ・ダウラク、トウンジェル・クルティス

11:05/16:25

早稲田松竹
 03(3200)8968